

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【公開番号】特開2007-144416(P2007-144416A)

【公開日】平成19年6月14日 (2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2007-022

【出願番号】特願2006-298995(P2006-298995)

【国際特許分類】

B 0 1 D 71/82 (2006.01)

C 0 8 F 220/18 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 D 71/82

C 0 8 F 220/18

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月2日 (2009.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

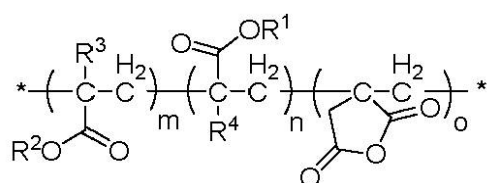
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の式 (I) の構造を有するターポリマーを含有するコーティングを含んでなる膜。

【化 1】



(I)

式中、 R^1 はアルキル基であり、 R^2 は式 $CF_3(CF_2)_p(CH_2)_q-$ の基 (p は 1 ~ 21 の範囲の整数、 q は 1 ~ 10 の範囲の整数である。) であり、 R^3 及び R^4 は各々水素又は短鎖アルキル基であり、 m は 1 超の整数、 n は 2 超 ~ 20000 の整数、 o は 2 超の整数である。

【請求項 2】

R^1 がブチル基であり、 R^2 が 3, 3, 4, 4, 5, 5, 6, 6, 7, 7, 8, 8, 9, 9, 10, 10, 10 - ヘプタデカフルオロデシル基であり、 R^3 及び R^4 が各々水素である、請求項 1 記載の膜。

【請求項 3】

被覆膜の水流量が 10 ウェット / ドライサイクル後室温で 27 インチ Hg の圧力差で 1 mL / min - cm 超である、請求項 1 又は請求項 2 記載の膜。

【請求項 4】

フッ素置換アクリレートもしくはフッ素置換メタクリレートと、無水イタコン酸又は無水マレイン酸を含む不飽和無水物と、アルキルアクリレートもしくはアルキルメタクリレートとの反応生成物を含有するコーティングを含んでなる膜。

【請求項 5】

前記フッ素置換アクリレートが 3, 3, 4, 4, 5, 5, 6, 6, 7, 7, 8, 8, 9, 9, 10, 10, 10 - ヘプタデカフルオロデシルアクリレートを含む、請求項 4 記載の膜。

【請求項 6】

前記アルキルアクリレートがブチルアクリレートを含む、請求項 4 又は請求項 5 記載の膜。

【請求項 7】

前記コーティングがさらに多官能性架橋剤を含む、請求項 4 乃至請求項 6 のいずれか 1 項記載の膜。

【請求項 8】

前記コーティングが多官能性架橋剤で架橋されて被覆膜を形成している、請求項 7 記載の膜。

【請求項 9】

被覆膜の水流量が 10 ウェット / ドライサイクル後室温で 27 インチ Hg の圧力差で 1 mL / min - cm 超である、請求項 8 記載の膜。

【請求項 10】

フッ素置換アクリレートもしくはフッ素置換メタクリレートと、無水イタコン酸又は無水マレイン酸を含む不飽和無水物と、アルキルアクリレートもしくはアルキルメタクリレートと、開始剤とを溶剤中で反応させてターポリマーを形成し、

このターポリマーと多官能性架橋剤とを反応させて膜上にコーティングを形成する工程を含む方法。